

令和6年度自己評価（羽沢保育園）

<1>よこはま☆保育・教育宣言について（[よこはま☆保育教育宣言](#)参照）

- （1）宣言を活用している（園内研修・保護者への周知など）
- ☐（2）知っているが具体的な活用には至っていない
- （3）今回初めて知った

<2>宣言1に掲げる「安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育します」が実践されている。

- ☐（1）あてはまる
- （2）まああてはまる
- （3）あまりあてはまらない
- （4）あてはまらない

<3>宣言2に掲げる「子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします」が実践されている。

- （1）あてはまる
- ☐（2）まああてはまる
- （3）あまりあてはまらない
- （4）あてはまらない

<4>幼保小の連携に掲げる「乳幼児期の育ちと学びを受け止め、小学校以降の教育につなげます」を实践するために、乳幼児期ならではの今できることを大切にしている。

- ☐（1）あてはまる
- （2）まああてはまる
- （3）あまりあてはまらない
- （4）あてはまらない 子どもの様子について 聞かせてください。

<5>子ども一人ひとりが自分の意志を持ち、安心して生活できている。【宣言1－1（P6）】

- ☐（1）あてはまる
- （2）まああてはまる
- （3）あまりあてはまらない
- （4）あてはまらない

<6>遊びの中で、様々な人、様々なものと関わり、子どもの興味・関心から遊びが豊かに生じている。【宣言1－2、宣言1－3（P7～8）】

- ☐（1）あてはまる
- （2）まああてはまる
- （3）あまりあてはまらない
- （4）あてはまらない

<7>子ども同士の関わりが豊かに見られる。【宣言1－3、宣言2－1（P8、P10）】

- ☐（1）あてはまる
- （2）まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 8 >子どもが試行錯誤をしながら、夢中になって遊びこむ姿が見られる。【宣言 2-2 (P11)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 9 >設問 5～8 に関する語り合いの中で出てきた事例があれば教えてください。

「子どもたちは保育士が設定した保育にも興味を持って取り組むが、決まりを作らず自由に遊ぶことが大好きで、色々な発想が生まれてくる。例えば、園庭での泥、水、泡遊びでは、泥や泡を体に付け、汚れるのも気にせず思い切り、自由に楽しむ姿が見られ、その中から泥団子作りや、水を使って川が出来たりと、それぞれの発想で遊びがどんどん発展していく様子が見られた。その他、友達と話し合ったり協力したりする姿も見られた。」

< 10 >子どもが安心できる場や信頼できる関係を作っている。【宣言 1-1 (P6)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 11 >一人ひとりの思いや声を丁寧に聞いて（汲んで）保育を行っている。【宣言 1-2 (P7)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない 【宣言 1-2 (P7)】

< 12 >子どもが豊かで多様な環境と関わりながら育つことを大切にしている。【宣言 2-1 (P10)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 13 >設問 10～12 に関する語り合いの中で出てきた事例があれば教えてください。

「配慮が必要な子が多く、個別対応が必要なことが多いが、例えば保育室に入りたがらない子にはゆっくりと話を聞き、気持ちが落ち着くまで寄り添い、前向きに保育に参加できるよう配慮するなど、一人ひとりの特性、個性に合わせた対応を心掛けた。朝夕の時間帯では、学年、クラスに関わらず、園庭での自由遊び等の中で、異年齢児や担任以外の職員と関わる機会が多く、その中での交流を大切にしている。」

< 14 >保育者自身が子どもとともに楽しみながら保育・教育を行っている。【宣言 2-3 (P12)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 1 5 > 保育者同士が子どもの姿をよく語り合っている。【宣言 1 ～ 2 全範囲】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 1 6 > 保育者間で互いの意見や考えを発信し合えている。【宣言 1 ～ 2 全範囲】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 1 7 > 保育者は、育みたい資質、能力、「乳幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が総合的に育つことを理解し、振り返りをしている。【宣言 2 - 2 (P11)】

(1) あてはまる

○ (2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 1 8 > 設問 14～17 に関する語り合いの中で出てきた事例があれば教えてください。

「鬼ごっこやかくれんぼ、ドッジボール等、子どもの遊びに保育士が参加し、一緒に楽しんだり、時には子どもたち同士で遊びを展開する様子を見守ったりと、子どもの育ち、姿を感じ取るよう心掛けています。午睡時や職員会議等の時に、日々の子どもの様子を、姿を保育士同士で共有している。」

< 1 9 > 子どもの興味関心に合わせて、柔軟に週次、日次の計画を見直ししながら保育をしている。

【宣言 1 ～ 2 全範囲】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 2 0 > 保育の記録に写真（ドキュメンテーション等）・音声・映像などを用いてカンファレンスや実践の振り返りに日々活用している。【宣言 2 - 3 (P12)】

(1) あてはまる

(2) まああてはまる

○ (3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 2 1 > 子どもの姿や様子などを保護者に色々な手段を使いながら積極的に発信している。【宣言 2 - 3 (P12)】

○ (1) あてはまる

(2) まああてはまる

(3) あまりあてはまらない

(4) あてはまらない

< 2 2 > 設問 19～21 に関する語り合いの中で出てきた事例があれば教えてください。

「各学年ごとに子どもの興味、関心のある物は何か話し合い、保育の計画を立てている。また子どもが興味のある生物やキャラクターの手作りおもちゃや、配慮が必要な子が落ち着く手作りおもちゃなどを用意した。保護者に向けては、日常の保育の様子を写真に撮り、保育室の入り口に掲示したり、懇談会に保育の様子動画を上演したり、毎月の通信で日々の保育の様子やエピソードなどを伝えたり、様々な手段で発信している。このような取り組みは、園の信頼につながっていると感じる。」

< 2 3 > 保育の中で子どもたちのブームになっていることや、わくわくした(する)エピソードなどを一つ教えてください。

「誕生会の職員の劇を真似た劇ごっこが、3歳児クラスでブームになった。子どもたちが配役を決め、職員が言っていたセリフを役になり切って言い、劇遊びを楽しむ微笑ましい姿が見られた。その様子に興味を持った子が次々に参加し、多人数になり、遊びがどんどん発展していった。」

< 2 4 > これまでに、横浜市が主催した(している)次の研修のうち、貴園の職員が受講しているものを選択してください。

☐ よこはま☆保育・教育宣言研修 ☐ 園内研修リーダー育成研修 ☒ 乳児保育実践研究

☐ 保育所における自己評価ガイドライン研修 ☐ 幼児教育実践研究

☒ いずれの研修も受講したことがない

< 2 5 > 設問 24 と同じようなテーマの研修は、どこまで主催する研修に参加することが多いですか。

(上位 2 つ)

【上位 1 番目】 ☐ 横浜市主催 ☐ 県主催 ☒ 所属する団体・協会が主催 ☐ その他 ()

【上位 2 番目】 ☒ 横浜市主催 ☐ 県主催 ☐ 所属する団体・協会が主催 ☐ その他 ()

☐ 上位 1 番目以外は参加していない

< 2 6 > 園内研修でどのような取組を行っていますか。(複数選択可)

☐ マニュアルなどの確認

☒ 外部研修受講者による研修内容の共有(研修報告)

☐ 外部講師を招いた研修

☐ 保育実践を持ち寄り語り合う研修

☐ よこはま☆保育教育宣言や園内研修・公開保育ブックレットや動画を活用した研修 ☐

その他

< 2 7 > 公開保育はどのように取組を行っていますか。

☐ 実施している

☐ 実施はしていないが、他施設の公開保育に参加している

☒ 園内のみで実施している

☐ 今は実施していない

☐ その他(実施していない)